



診療科の概要

顎口腔領域の炎症、外傷、腫瘍性病変、粘膜病変、有病者や障がい者の外科的治療など、一般開業医さんでは加療困難な疾患を中心に担当しています。新患の大部分は歯科開業医さんからのご紹介で、それに院内の頼診が加わります。1か月あたりの紹介患者数は消化器内科、整形外科に次いで3番目に多い状態です。

基本的には、開業医さんで通常の治療ができるまでに回復させるのが当科の役割です。院内各科、弘前大学医学部附属病院歯科口腔外科との連携を密にし、必要な場合は迷わず速やかに紹介としています。現在常勤医1名、歯科衛生士2名、歯科技工士1名で日々奮闘しています。



歯科口腔外科 医師のご紹介

あきたや とおる
部長 秋田谷 徹

資格
歯科医師、医学博士

専門分野
歯科口腔外科一般



歯科口腔外科への

ご紹介は…



外来診療担当医師

	月	火	水	木	金
午前	8:00~ 11:30	8:00~ 11:30	8:00~ 11:30	8:00~ 11:30	8:00~ 11:30
	秋田谷	秋田谷	秋田谷	秋田谷	秋田谷
午後					

※新患・紹介患者の受付は10時30分までとなります

ご連絡はこちらへ
(地域医療連携室)

☎ 017-734-2171 (内線7124・5110)

☎ 017-734-2177

✉ a-shimin-renkei@aomori-city-hospital.jp

対象疾患

外傷（口腔内の裂傷、歯牙の破折、歯槽骨骨折、顎骨骨折）、炎症（歯肉の腫脹、疼痛、智歯の疼痛、顔面の蜂窩織炎）、MRONJ、良性、悪性腫瘍、顎骨嚢胞、顎関節症、顎関節脱臼、三叉神経痛など顔面の疼痛、各種口腔粘膜疾患、放射線性顎骨壊死、舌痛症、味覚障害 etc.

上記を精査し、内科的あるいは外科的治療をします。

令和3年度手術例	手術数（例）
埋伏智歯、埋伏歯等抜歯術（※）	222
顎骨嚢胞摘出術	35
粘液嚢胞摘出術	2
組織生検術	22
良性腫瘍摘出術	5
悪性腫瘍切除術	2
口腔内外裂創縫合術	5
顎骨嚢胞穿刺、洗浄	34

※普通抜歯、難抜歯は含みません

MRONJ（薬剤関連顎骨壊死）の治療について

MRONJは、ビスホスホネート剤などの骨吸収抑制薬を投与されている骨粗鬆症や、癌の溶骨性転移の患者に見られる顎骨壊死のことです。主に抜歯を契機に発症し、標準的な歯科治療に反応しないため、極めて難治性でひとたび発症すると終生進行します。

治療は基本的に保存治療で、口腔内の清掃、腐骨の除去、間欠的な抗生剤の投与を行いながら経過観察します。うまく腐骨塊が排出されて治癒する場合があります。

有病者の抜歯について



抗血栓薬を服用中の方の抜歯は原則休薬なしで行います。血液透析中の方は透析日を避けて行います。糖尿病の方は重症度に応じて抗生剤を前投与する場合があります。癌の化学療法中の方は、主治医と連携した上で予定します。放射線治療の既往のある方は、当該歯が照射野外であることを確認した上で行います。MRONJの方は抜歯を避け、それに代わる保存療法を検討します。ビスホスホネート剤やデノスマブを服用中の方はリスクファクターを考慮して検討します。

スタッフ紹介

2名の歯科衛生士が外来を担当しています。

あらゆる場面での的確丁寧な対応を心がけています。

青森市歯科医師会、開業歯科医院、院内の関連各科と連携し周術期口腔機能管理も実施しています。

また専任の歯科技工士がおり、通常の冠、義歯作製のみならず、顎関節症のスプリント、唇顎裂のホッツ床、顎欠損の顎義歯、睡眠時無呼吸症候群のスプリント、各種保護シーネ作製などさまざまな場面に対応しています。

【スタッフ】平川歯科衛生士、佐藤歯科技工士、黒澤歯科衛生士



青森市民病院 院長 豊木 嘉一

〒030-0821 青森市勝田1丁目14-20

☎ 017-734-2171（代表）